第１学年Ａ組　現代社会　学習指導案

１　習得した知識を活用して、学びを深める発問を工夫する。
２　意見交換、学び合い、発表等の言語活動を設ける。
３　学び、考え、疑問点等を振り返り、次の学びへの興味につなげる。

日　時：平成 29 年 10 月 23 日 6 校時
指導者：秋田県立本荘高等学校　太田和佳子
場　所：情報処理室

１　単　元　名　　３　生命科学と情報技術の課題

２　単元の目標
　現代社会における科学の有用性や将来性を理解する。一方で生じている諸問題を理解し、対策等を幅広く考える深い思考力を培い、人間としての在り方生き方につなげる。

３　指導にあたって
(1) 単元観
　現代社会の課題の一つが科学技術の進展である。科学技術の進歩は望ましいことであるが、テクノロジーの進歩に社会、法、倫理が追いつかずに諸課題が生じている。想定できない技術が開発されていく時代を生きる生徒に、現在の諸課題を把握し、多様な視点で問題を把握し、自らの適切な行動を考えさせる必要がある。

単元計画（総時数３時間）
１時間目　人間の生死と生命科学
２時間目　遺伝情報と利用の諸課題
３時間目　生命倫理の諸課題【本時３／３】

(2) 生徒観
　１年Ａ組 41 名は理解力に優れる。また、素直で前向きな姿勢を持つが、誤答を恐れて発言が少ない。本時はグループディスカッションにより積極的な発言を支援し、深い考察や気付きをうながしていきたい。

(3) 指導観
　生命倫理問題は生徒の生き方や生命観につながるため重要な単元となる。本時は学習した先達の思想をふまえ、弁証法的に思考し、ディスカッションさせることで異なる視点や考え方に触れ、深い思考につなげる指導としたい。

(4) キャリア教育について
　医療技術の進歩は著しく、自らが患者となり問題に直面する可能性のみならず、医療看護系等を志望する生徒には進路選択にも関わる。多様な視点を養い、問題を把握する能力を高め、深い思考力を持つことはキャリア教育につながる。

４　本時の計画
(1) 本時のねらい
・生命倫理の諸問題と思想（家）を、討議や作業を通して確認し正確に理解する。
・多様な視点から考え、討議を通して自らの思考を深める。